

## 2022. 3 月のブルーベリー農園その 1

東広島市豊栄町にあるブルーベリー園も、すっかり雪は消え、日中の気温も 12 度位に上がりやっと過

ごしやすくなった。ブルーベリーの剪定業を続け、溜まったブルーベリーの枝を燃やし、熾火で焼き芋を焼きなどして過ごした。ブルーベリーの堰剪定もいつ終わるかまだメドが立たないが、コツコツと続けるしかない。



33 雪がすっかり解けた



3月3日（水）。  
里山のブルーベリー園も雪はない。



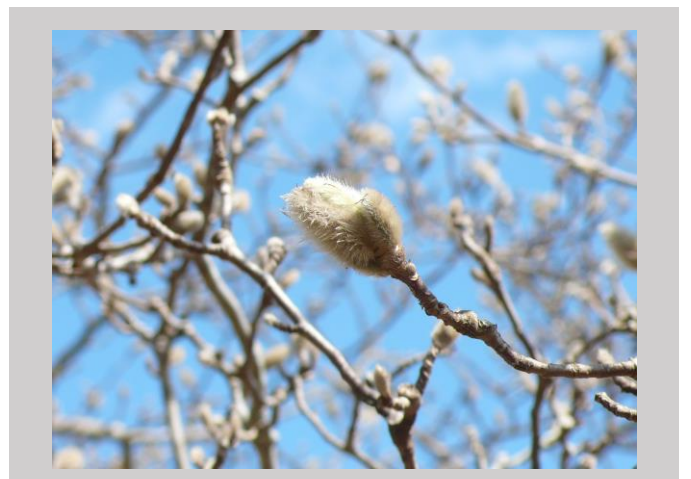
ブルーベリーの枝を燃やし



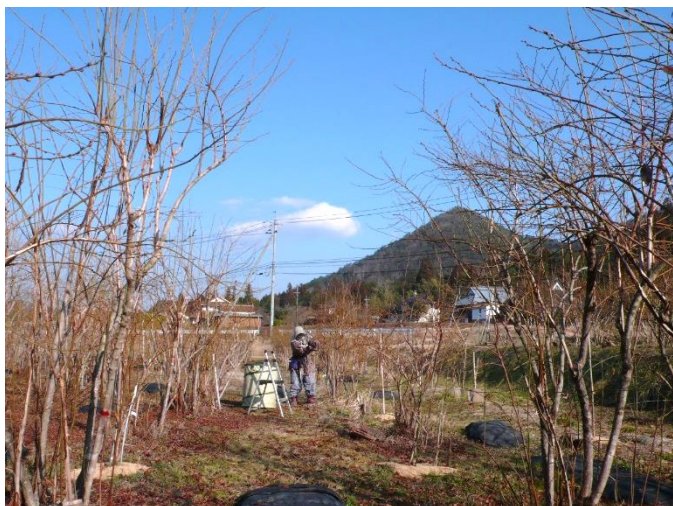
大きいサツマイモを水で湿らせた新聞紙にくるんでアルミホイルで包み熾火で焼き芋を作る。



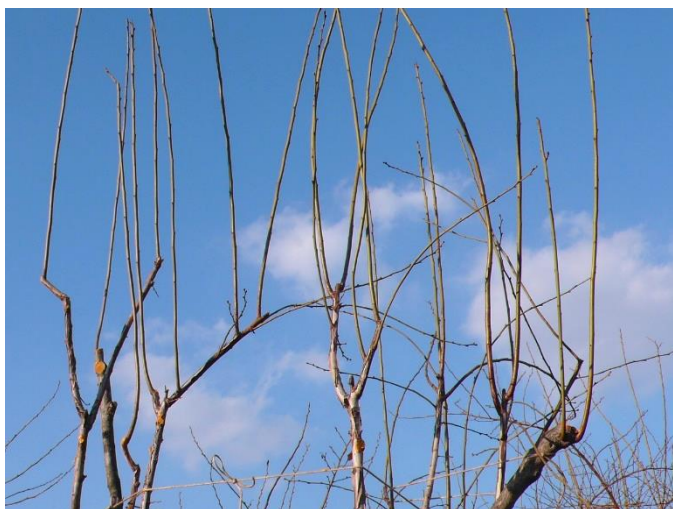
中までほっこり焼けたので家に持ち帰り、皆で食べた。大きかったが中まで焼けていた。







剪定を続ける



上に伸びた枝は昨年春から伸びた枝で2m近いものもある。



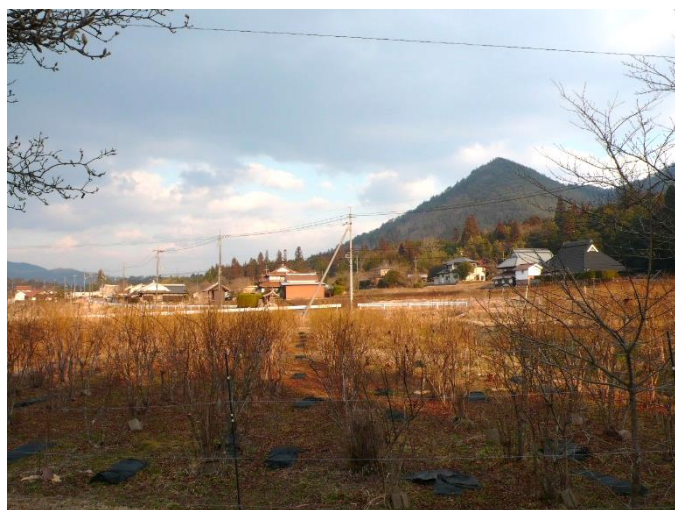
3月6日（日）。  
5日は雨で農作業はなし。シデコブシの花芽が膨らんできた。



畑でのブルーベリーの剪定作業をしていると、ジョウビタキ2m離れたとなりのブルーベリーの枝にとまってしばらくいてくれた。



もう一つの作業は安芸の郷で使うブルーベリーの挿し木用の穂木を採取すること。晩生のホームベルとウッドワード、パウダーブルーの3種類を採取した。



5時前帰途につく前の景色。ブルーベリー畑の陽は陰り向こうの山は夕陽で明るい。

2022年3月8日  
社会福祉法人安芸の郷  
理事長 遊川和良

